

平成 29 年度 第 1 回三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日時：平成 29 年 6 月 5 日（月）

12 時 30 分～15 時 30 分

場所：三重県熊野庁舎 5 階 大会議室

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 議 事

(1) 神内川水系の流域概要について説明をし、次のような意見をいただいた。

- 神内川と熊野川の流域界について、平成 23 年洪水においては熊野川の溢水が神内川に流入しており、昔は熊野川の旧河道であったのかを含めて整理いただきたい。また、熊野川の溢水箇所の堤防の状況も調査いただきたい。
- 平成 23 年洪水において熊野川左岸から神内川流域に溢水した箇所が、もともとは神内川から熊野川に合流していて、その後鵜殿港方面に付け替えたようにも見えるので、古い地図で確認願いたい。
- 植物調査について、この辺りは春季に確認される種もあるため、もう少し早い時期に実施した方がよい。
- 河道内植生の調査結果が少ないため、もう少し調査を実施してもらいたい。
- 河道とその周辺の植生の関係を整理する等、もう少し詳細な調査が望まれる。ウバメガシなど地域を象徴する植物と神内川との関係を意識して整理するとよい。
- 災害復旧等で河道掘削しているが、その後の維持管理状況を含め、土砂堆積しやすい河川かどうかを教えてください。
- 平成 23 年洪水では中流部の水田が浸水し、その貯留効果で下流の浸水被害が軽減されているのではないか。
- 紀宝町の下水道や合併浄化槽など、神内川流域の下水処理方法はどのような状況か教えてください。
- 天然記念物に指定されている「樹叢」の中身などの資料を、地域の自然を理解し、大切にするための資料として残しておいてもらいたい。
- 神内川の河口部にある神社などを見ると、昔の地形が湾のようになっていたと考えられる。

4. 閉 会